

登園の際には、下記の登園届の提出をお願い致します。
 (なお、登園の目安は、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。)

登園届 (保護者記入)		
ゆりのこ保育園園長殿 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">園児氏名 _____</div>		
病名 「 _____ 」 と診断され、 令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 医療機関名 「 _____ 」 において 症状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。		
保護者名 _____		

保育所は、乳幼児が、集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

保育所入所児がよくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、保育所での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

○ 医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症

病名	感染しやすい期間	登園の目安
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
胃腸炎	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルス又は細菌を排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり24時間たっている事、普段の食事がとれていること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから
突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
伝染性膿痂疹 (とびひ)	湿潤な発疹がある間	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が覆える程度のものであること (皮疹・痂皮が湿潤している間は、接触による感染力が認められる)
伝染性軟属腫 (水いぼ)		掻きこわし傷から、浸出液が出ているときは被覆すること
頭ジラミ	発症から駆除開始し数日間	駆除を開始していること

1. 伝染性膿痂疹(とびひ)は、擦り傷、虫刺され、あせも、アトピー性皮膚炎等の小さな傷から細菌が感染します。感染している人の膿の入った水ぶくれが潰れて、中の菌があちこちに飛び火のように広がる病気です。従って、完全に患部を覆って閉鎖することができる場合にのみ登園が可能となります。患部が広範囲だったり顔面等覆うことができない場合には登園できません。
2. 水いぼは、皮膚や粘膜のウイルス感染症で、完治には長い期間がかかる場合があります。感染しても熱や特別な症状が出ないため、自然に治るのを待つという考え方と、周りの園児に伝染することを防ぐために積極的に治療すべきだという、二つの考え方があります。感染が疑われる場合には、皮膚科等で診察を受けていただくようお願いしています。その際、保育園へ登園していることを医師へ伝えていただき、治療方針は医師の指示に従ってください。水いぼの診断がついた場合、担任または看護師へご連絡ください。皮膚と皮膚の接触で感染するため、夏場の半袖や半ズボン等で患部が露出している場合は、患部を絆創膏やガーゼ、アームカバー等で覆うようお願いいたします。覆うことができている場合は水遊びも可能です。
3. 頭ジラミは、感染している人との直接・間接の接触やスイミングプールなどで感染する場合があります。感染した子ども同士が互いに感染させるピンポン感染を繰り返すおそれがあるため、感染に気付いたら直ぐに皮膚科等の診察を受けてください。医師の診断に基づき、シラミを駆除するパウダーやシャンプーを使用しますが、駆除開始後数日間は感染しやすい期間となります。保育園への登園はいつから可能になるか確認していただき、担任または看護師へご連絡ください。駆除が完了する前に登園が可能になった場合、お昼寝用シーツと掛布団は毎日お持ち帰りいただきます。洗濯後翌日お持ちください。